

常任委員会の審査概要

本委員会に付託された案件は、分割付託事項を含む議案4件です。

議案第75号地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例では、「第4条で、26の職等を別表から削除することのだが、削除した後はどのようにするのか」との質疑に対し、「廃止する職、会計年度任用職員へ移行する職、会計年度任用職員に当てはまらない職となり、会計年度任用職員に当てはまらない職については、現在、各所管課で職の在り方について検討・調整しております」との答弁があった。

議案第76号蓮田市森林環境整備基金条例では、「森林環境譲与税は、主に森林環境整備等に充てられるべきものだと思うが、森林が比較的少なく、人口が多い地域に

多く配分されることも考えられるか」との質疑に対し、「国の基準では、私有林人口面積に対する譲与基準は10分の5、林業就業者数に応じての区分は10分の2、人口に対しては10分の3となっていることから、森林を有しない市町村は人口割での配分が多くなる状況です。しかしながら、森林環境税は森林の整備のほか、木材の利用や森林環境教育を行うことで、森林を保全していく趣旨となっていることから、このような配分になっていると理解しております」との答弁があった。

採決の結果、議案第74号は総員をもって、議案第75号、議案第76号及び議案第81号の分割付託事項については賛成多数をもって可決すべきものと決した。

本委員会に付託された案件は、分割付託事項を含む議案7件と請願1件です。

議案第80号指定管理者の指定については、「蓮田市立学童保育所指定管理業務仕様書中の業務基準のうち、土曜日の保育所について中学校単位で一箇所とすることも可とする。具体的にどこの保育所に集約となるのか決まっているのか」との質疑に対し、「現在、検討課題として事業者と調整を進めているところです」との答弁があった。

議案第81号令和元年度蓮田市一般会計補正予算（第4号）の分割付託事項では、教育総務課の関係で、「小学校施設維持管理事業のうち工事請負費について、蓮田南小学

校の校庭の砂ほり対策として山砂を入れる工事は、子ども達がいる間も工事期間に入ってしまう可能性があるが、工事期間はいつ頃になるのか」との質疑に対し、「まず当初予算で土がけずれて危険な箇所を埋める作業を12月に、補正予算の承認後に工事発注の手続きに入り、工事は2月から3月の期間となります。学校運営に支障がない様によく相談のうえ進めていく考えです」との答弁があった。

採決の結果、議案第77号、議案第78号、議案第83号及び議案第84号は総員をもって、議案第80号、議案第81号の分割付託事項、議案第82号は賛成多数をもって可決すべきものと決した。また、請願第1号については総員をもって採択すべきものと決した。

本委員会に付託された案件は、分割付託事項を含む議案4件です。

議案第79号指定管理者の指定については、「指定管理者の応募について、2者しか手を挙げなかったことだが、募集要項に、条件を狭めることがあったのではないか」との質疑に対し、「特に従業員数や資本金などの資格制限はありません。そうした中で、今回の応募が2者であったということになります」との答弁があった。

議案第81号令和元年度蓮田市一般会計補正予算（第4号）の分割付託事項では、「経営所得安定対策推進事業費補助金について15万2000円の減額理由は」との質疑に対し、「定額補助ということになっております。市の要因ではなく、国が決めた金額で減額されたものです」との答弁があった。

議案第85号令和元年度蓮田市水道事業会計補正予算（第2号）では、「9割は泉水を買って、残りの1割を井戸から取水しているという話だが、今実際使っている井戸は、いくつあるのか」との質疑に対し、「今稼働している井戸は、10箇所のうち6箇所です」との答弁があった。

議案第86号令和元年度蓮田市下水道事業会計補正予算（第2号）では、「今回の補正予算で、特例的収入の補正後の金額が一億円余りとなっているが、要は一億円余りの未収金が、今年度で計上されているということではないか」との質疑に対し、「未収金につきましては、例月出納検査を受けた下水道事業の10月締めの段階で9496万円の収入があります」との答弁があった。

採決の結果、議案4件はすべて総員をもって可決すべきものと決した。

常任委員会は、議案や市民のみなさまから提出された請願などを細部にわたり、専門的に審査するための機関で、議員はそれぞれの常任委員会に所属しています。12月定例会で各常任委員会に付託された議案の主な審査概要は、右のとおりです。議案の内容については、前段のページで説明しております。



編集委員会

後列左より 菊池義人委員 木佐木照男委員 勝浦敦委員 関根香織委員 山田孝夫委員
前列左より 榎本菜保委員 中野政廣委員長 鈴木貴美子副委員長 湯谷百合子委員

編 集 後 記

12月定例会では、全国に大きな被害をもたらした台風に関連した、市の防災体制に係る議事が多く、改めて防災行政の重要性を認識したところです。今後も市議会において、市民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、最善の取り組みを考えていきます。

結びに、今季は暖冬と言われていますが、それでも気温は低く、空気が乾燥した日が続きます。市内では、年末からインフルエンザも流行していますので、体調管理には、充分お気を付けてください。（関根）